

# 決 意 表 明

今日の農業情勢は、世界規模での経済環境の変化に翻弄され、生産コストの上昇により、農業経営は過去に類をみない厳しい状況に直面している。さらに、百年に一度とも言われる全世界を巻き込んだ経済不況が追い討ちをかけ、地域農業の活力低下は著しく、農業そのものがまさに危機的状況にあるといわざるをえない。

また、WTO農業交渉においては、わが国の「食」と「農」を守るという強い信念のもと継続して重要品目の十分な確保等毅然とした態度で国民の理解と支持を得られる取組みを強化していく必要がある。

このような状況の中、われわれJA青年部は、常に新しいJA運動を探求し実践するとともに、食と農の価値を高め、実効性のある運動の展開を通じて責任ある政策提言を行う努力をさらに重ねていく必要がある。

JA宮崎県農青協結成50周年の節目にあたり、組織運動の重要性を50年間伝えてきた諸先輩方の熱い思いを受け、なお一層の団結とJA青年部として限りない活動の展開を目指すものである。

山積する諸問題に対し、「日本農業の将来を自ら切り拓き、農業を基盤とする地域づくりを実践するとともに、国民と豊かな食と環境を共有し、新たな礎となる確固たる青年部組織の樹立をめざし、さらに前進する」ということを目標に掲げ、何事にも負けない強い決意を盟友一人ひとりが自ら誓い、英知を結集し、活力ある「組織」の力をもって邁進することを決意表明とする。

平成21年3月31日

宮崎県農協青年組織協議会